

# 季節の フラワー エッセンス

## 第6回「さよなら、こんにちは」

一年で最も寒い時期が過ぎて、あちこちで早春の花の便りを聞くようになりました。春の訪れが近づくとつれて、新たなはじまりへの期待に心はずませる一方、春はまた、多くの人にとって、別れの季節でもあります。そこで、今回は「出会いと別れ」をテーマに、この季節にお勧めのフラワーエッセンスをご紹介しますと思います。

### インセキュリティー <コンポジットエッセンス>

子どものように人見知りしてしまうシャイな人に。内気で繊細な人にとって、知らない人との出会いのときは、しばしば不安になり緊張するもの。どんなふうに話しかければいいか、それを相手がどのように受け止めるか。もしかしたら、嫌われてしまうかもしれない。厳しいことを言われ、傷つけられるかもしれない。ネガティブなことばかり考えて不安が募ると、せっかくの出会いのときにも、つい心を閉ざしがちになってしまう人もいるでしょう。

いつもピクピクしたような、心もとない感じ。それは、もしかしたら幼いころに十分な愛情を受けられず、「自分は愛され、守られている」という感覚、安心感を得られなかったことに原因があるのかもしれない。

このような場合に、「インセキュリティー」のエッセンスはとても役に立ちます。このエッセンスは安心感をもたらしてくれます。そして、自分に自信をもち、心を開いて人とかかわることができるように助けてくれます。

特に、「インセキュリティー」にはシングルエッセンス「ミルク・シッスル」というエッセンスが含まれています。その名前のとおり、ミルク・シッスルは茎を切ると白い乳汁が出る植物です。それは幼いころに得られなかった母親の乳、すなわち愛を象徴しています。つまり、ミルク・シッスルは幼いころに得られなかった母親の愛をいま、あらためて感じさせてくれるのです。その愛を受け入れることで、それまで自分を制限していた不安を払いのけることができるようになるでしょう。



写真はS/ミルク・シッスル

photos by Akihiro Azuma



東 昭史 (あずま あきひと)  
アロマテラピー業界での勤務を通じてフラワーエッセンスに出会う。大槻真一郎氏に師事。植物の特徴表示をテーマに、フラワーエッセンスを研究。各地でフラワーエッセンス講座を開講し、個人セッションを行う。2007年4月、著書『花と錬金術』出版。2008年11月東京有楽町阪急百貨店にてフラワーエッセンスセミナーを開催。

### グリーフ <コンポジットエッセンス>

春は卒業、転勤、転居など、自分の置かれる環境や人間関係が大きく変わるとき。中には、どうしても変わりがなかった環境から移ったり、離れたくなかった人と別れたりすることもあるでしょう。何か大切なものを奪われたように感じて、心に悲しさや虚しさをおぼえる人もいます。

そんなときは、悲しみの感情を隠さずに表現することが大切です。悲しみを抑圧してみたり、気丈に振る舞ってみたりしても、決して問題は解決されません。かえって心に傷跡を残したままにすることで、ますます苦しみが増えることもあります。

「グリーフ」のエッセンスは、胸に秘めた悲しみを涙で洗い流し、苦しみをやわらげてくれます。心に安らぎをもたらし、悲しみから立ち直る過程を支えてくれます。その愛情にみちた安らぎと支えを与えてくれるのが、「グリーフ」に含まれているエクストラシングルエッセンス「ドッグ・ローズ」です。

ドッグ・ローズは、ヨーロッパに広く分布する野生のバラ。その淡いピンク色の花びらはハート型をしていて、私たちの心に愛や情熱をもたらしてくれることを表しています。また、バラは金星が支配する植物で、愛と美の女神ヴィーナスの象徴です。涙で洗い流された私たちの心は美しく浄められ、愛の支えによって強められます。「グリーフ」に含まれたドッグ・ローズに宿るヴィーナスの力が、悲しみに打ちひしがれる私たちの心を慰め、癒してくれるのです。



写真はE/ドッグ・ローズ